

2017年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2017/05/01	論文(国内)	石塚 伸一 教授	「[創生・新時代の犯罪学・共生の時代における合理的刑事政策] 犯罪学者のアイロニー～犯罪の減少をどう説明するか?～」(『社会科学研究年報』第47号) 57～72頁		
2017/06/01	論文(国内)	石塚 伸一 教授	薬物政策の未来予想図～薬物処罰も超えて、ドラッグ・コートも超えて～」指宿信, 木谷明, 後藤昭, 佐藤博史, 浜井浩一, 浜田寿美男編著『シリーズ刑事司法を考える第6巻 犯罪をどう防ぐか』(岩波書店) 226～251頁		
2017/06/01	論文(国内)	石塚 伸一 教授	書評「『犯罪はなぜくり返されるのか: 社会復帰を支える制度と人びと』藤本哲也著」(『更生保護学研究』第10号) 33～36頁	1	
2017/09/01	論文(国内)	石塚 伸一 教授	被害者問題のポリテイクス～刑事司法は、犯罪被害者のためにあるのか?～」指宿信, 木谷明, 後藤昭, 佐藤博史, 浜井浩一, 浜田寿美男編著『シリーズ刑事司法を考える第4巻 犯罪被害者と刑事司法』(岩波書店) 2～25頁		
2017/11/01	論文(国内)	石塚 伸一 教授	巻頭言「第27回日本嗜癡行動学会京都大会を終えて: 現代社会における依存と嗜癡: 回復の多様性を求めて」(『アディクションと家族(日本嗜癡行動学会誌)』第33巻1号) 2～6頁	1	
2017/11/01	論文(国内)	石塚 伸一 教授	対談「特集 現代社会における依存と嗜癡: 回復の多様性を求めて 第27回日本嗜癡行動学会 記念対談」, 近藤恒夫, 斎藤 学, 石塚 伸一(『アディクションと家族(日本嗜癡行動学会誌)』第33巻1号) 42～48頁		
2018/02/01	論文(国内)	石塚 伸一 教授	「[特集]ハーム・リダクションとは何か?～多様なアディクションからの回復を求めて～」、『龍谷法学』第50巻3号		
2018/02/01	論文(国内)	石塚 伸一 教授	監修資料「[調査報告]薬物依存症回復支援者研修(DARS)セミナー・イン・タイ」(『龍谷法学』第50巻3号) 1～84頁, 749～814頁		
2018/02/19	論文(国内)	石塚 伸一 教授	富川 雅満, 石塚 伸一, エリック・ヒルゲンドルフ「自動運転と法」, 龍谷法学 50(3), 597, 2018-02-09		??
2017/	論文(国内)	石塚 伸一 教授	和歌山カレー事件再審請求棄却: 科学と論理を歪曲した和歌山地裁決定, 刑事弁護 (92), 106-113, 2017		
2017/10/20	論文(海外)	石塚 伸一 教授	Suizid im japanischen Medizinstrafrecht, Journal of Penal Law and Criminology, Year 2017, Volume 5, Issue 1, 79 - 98, 20.10.2017	1	??
2018/02/20	出版物(国内)	石塚 伸一 教授	「裁判員裁判時代のリーガル・リテラシー」『演劇・パフォーマンスを活用した依存症からの回復支援の試み～カルデモンメのゆかいなどろぼうたち～』近代市民法成立と桃太郎の大罪～中世法(桃太郎の世界)から、近代法(笠地蔵の社会)へ～』龍谷大学社会科学研究所叢書『裁判員時代の法リテラシー 法情報・法教育の理論と実践』, 日本評論社		
2017/09/15	学会報告(海外)	石塚 伸一 教授	Life Imprisonment in Japan, 2017年9月 United Kingdom		
2017/04/01	論文(国内)	福島教授	「裁判所が関与する更生支援の可能性(特集 刑事手続と更生支援)」, 法律時報 89(4), 26-32		
2017/07/01	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「更生の在り方をどう報じるか: 110年ぶりの刑罰見直しを前に 刑罰への正しい理解促す報道に期待: 刑務所の養護施設化を招いたものは」, 新聞研究 (793) 42 - 47 2017年8月		
2017/09/01	論文(国内)	浜井 浩一 教授	特集 矯正・保護総合センター主催日伊シンポジウム「ポッターテ刑務所の奇跡: ソーシャルファームを活用した社会復帰」報告 シンポジウム企画の趣旨: 再犯防止に向けた刑務所のあり方とソーシャルファームの活用, 龍谷大学矯正・保護総合センター研究年報 (7) 5 - 9 2017年		
2017/04/20	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「懲役刑の廃止と自由刑の一本化の課題(法律家のための犯罪学入門第30回)」, 雑誌『季刊 刑事弁護』, 現代人文社 [編]		
2017/07/20	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「刑事司法と認知症: 認知症受刑者から見える刑事司法の課題(法律家のための犯罪学入門第31回)」, 雑誌『季刊 刑事弁護』, 現代人文社 [編]		
2017/10/20	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「日本における外国人犯罪(法律家のための犯罪学入門第32回)」, 雑誌『季刊 刑事弁護』, 現代人文社 [編]		
2017/	出版物(海外)	浜井 浩一 教授	「The Handbook of Homicide」浜井 浩一(担当:分担執筆, 範囲: Homicide in Japan), Wiley, 2017年		
2017/09/02	学会報告(国内)	石塚 伸一 教授	日本犯罪学会第44回大会(國學院大學)「ラウンドテーブル ディスカッション——死刑と無期の間～終身刑問題をどう考えるか——」		
2017/09/15	学会報告(海外)	浜井 浩一 教授・津島 昌弘 教授	The first Japanese survey on violence against women in collaboration with FRA, Koichi HAMAI=Masahiro Tsushima, 2017年9月 United Kingdom		
2017/09/15	学会報告(海外)	浜井 浩一 教授・津島 昌弘 教授	Preliminary findings regarding physical and sexual abuse in Japan: the result of the first comprehensive survey on violence against women in Japan, Koichi HAMAI=Masahiro Tsushima=Satoshi GATO=Mitsuaki UEDA, 2017年9月 United Kingdom		
2017/10/31	論文(国内)	浜井 浩一 教授・津島 昌弘 教授	犯罪研究動向 女性の暴力被害に関する調査: 主に『女性の日常生活の安全に関する調査』の実施を通じて, 津島 昌寛, 我藤 諭, 浜井 浩一, 犯罪社会学研究 (42) 182 - 188 2017年		
2017/06/01	出版物(国内)	浜井 浩一 教授	「シリーズ刑事司法を考える 第6巻 犯罪をどう防ぐか」浜井浩一, 責任編集, 岩波書店 2017年6月		
2017/	論文(国内)	赤池 一将 教授	網走刑務所(「矯正・保護課程」開設40周年記念号)--(矯正施設参観記 2017年度「矯正・保護課程」共同研究・施設参観報告), 矯正講座 (37), 306-309, 2017, 龍谷大学矯正・保護課程委員会		
2017/10/15	学会報告(海外)	武田 俊信 教授	Atypical alert state control in individuals with ADHD, International Autism Conference		
2017/04/01	論文(海外)	武田 俊信 教授	PsyChometric properties of the Japanese version of the Adult Attention-deficit hyperactivity disorder (ADHD) Self-Report Scale (ASRS-J) and its short scale in accordance with DSM-5 diagnostic criteria, Toshinobu Takeda, Yui Tsuji, Hiroshi Kurita, RESEARCH IN DEVELOPMENTAL DISABILITIES 63 59 - 66 2017	1	

2017年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2017/09/01	論文(海外)	武田 俊信 教授	Psychometric properties of the Japanese version of the Weiss Functional Impairment Rating Scale: Self-Report., Toshinobu Takeda, Yui Tsuji, Junichiro Kanazawa, Takanobu Sakai, Margaret D Weiss, Attention deficit and hyperactivity disorders 9(3) 169 - 177 2017	1	
2018/02/01	論文(国内)	古川原 明子 准教授	古川原明子, 秋田真志, 笹倉香奈: 「揺さぶられっ子症候群(SBS)理論をめぐるスウェーデンの状況: 刑事司法における科学鑑定」, 龍谷法学 50(3) 653 2018年2月		
2017/06/01	論文(国内)	黒川 雅代子 教授	「東北における災害グリーフサポートプロジェクト(JDGS)の活動について—「あまいな喪失」への支援の取り組み—」中島聡美, 石井千賀子, 井上ウィマラ, 伊藤正哉, 小笠原知子, 黒川雅代子, 米虫圭子, 坂口幸弘, 生島浩, 白井明美, 瀬藤乃理子, 高橋聡美, 辻井弘美, 滑川明男, 村上典子, トラウマティック・ストレス 15(28) 81 - 85 2017年6月		
2017/07/01	論文(国内)	黒川 雅代子 教授	「家族にとつての「身内の死」という体験～職員が気づかずにいるご遺族の思い」黒川雅代子, 病院安全教育8・9月号 5(1) 23 - 26 2017年8月		
2017/12/01	論文(国内)	黒川 雅代子 教授	「ワークショップによる災害時遺族支援に関する効果的な研修企画についての検討—日本災害看護学会第16回年次大会での企画・運営を通じて—」久保田千景, 山崎達枝, 黒川雅代子, 岸野真由美, 日本災害看護学会誌 19(2) 15 - 24 2017年12月		
2017/10/	論文(国内)	浜井 浩一 教授・津島 昌弘 教授	犯罪研究動向 女性の暴力被害に関する調査——主に『女性の日常生活の安全に関する調査』の実施を通じて, 津島昌寛, 我藤諭, 浜井浩一, 犯罪社会学研究 42 182 - 188 2017年		招待論文
2017/09/	論文(国内)	津島 昌弘 教授	失業と財産犯罪——年齢別検挙人員を用いた時系列分析, 津島昌弘, 罪と罰 54(2) 33 - 44 2017年		招待論文
2017/06/23	出版物(国内)	浜井 浩一 教授・津島 昌弘 教授	「犯罪をどう防ぐか」津島昌寛, 浜井浩一(担当:共著, 範囲:第15章 手続的公正(プロセス・ジャスティス)—信頼される刑事司法とは?), 岩波書店 2017年		
2018/03/01	論文(国内)	井上 善幸 教授	The Basis of Mahayana: Shinran's Understanding of the One Buddha Vehicle, the Vow, 井上善幸, 真宗学 (137-138) 35 - 52 2018年3月	1	
2018/02/09	論文(国内)	古川原 明子 准教授	揺さぶられっ子症候群(SBS)理論をめぐるスウェーデンの状況: 刑事司法における科学鑑定, 古川原 明子, 笹倉 香奈, 秋田 真志, 龍谷法学 50(3), 653, 2018-02-09		
2017/05/01	論文(国内)	金 尚均 教授	「SNS上の表現に対する法的規制」立命館法学 = 立命館法学 (375/376), 168-192, 2017		
2017/09/29	論文(国内)	金 尚均 教授・玄 守道 教授	ヴァルター・グロップ『刑法総論』(第4版、2015年) (5) 龍谷法学 50 (1), 489		
2018/02/01	論文(国内)	金 尚均 教授	「刑法改正、ヘイトスピーチ解消法改正の可能性 (特集 ヘイトスピーチ/ヘイトクライム(3)ヘイトスピーチを止められるか)」法学セミナー 63(2), 18-25, 2018-02		
2018/02/01	論文(国内)	金 尚均 教授	「翻訳ドイツ刑法130条(民衆扇動罪)」について: 集合法と表現の自由に照らして, ザイファート マーティン, 金 尚均 [訳], 龍谷法学 50 (3), 1635-1655, 2018-02		
2018/02/01	論文(国内)	金 尚均 教授	「ドイツ刑法130条(民衆扇動罪)」について: 集合法と表現の自由に照らして, マーティン ザイファート, 龍谷法学 50(3), 621, 2018-02-09		
2018/02/09	論文(国内)	金 尚均 教授・玄 守道 教授	ヴァルター・グロップ『刑法総論』(第4版、2015年)(6): (Walter Gropp, Strafrecht Allgemeiner Teil, 4. Auflage, 2015) 龍谷法学 50(3), 697		
2018/03/12	論文(国内)	金 尚均 教授・玄 守道 教授	ヴァルター・グロップ『刑法総論』(第4版、2015年)(7): (Walter Gropp, Strafrecht Allgemeiner Teil, 4. Auflage, 2015) 龍谷法学 50(4), 775		
2018/03/20	論文(国内)	金 尚均 教授	「ドイツの刑務所医療事情 (「矯正・保護課程」開設40周年記念号) — (特集 刑事施設医療の改革を考えるために)」、矯正講座 (37), 193-209		
2017	論文(国内)	吉川 悟 教授	アレキシサイミアと自閉症スペクトラム症の関連について 龍谷大学臨床心理学紀要 (5) 19-26		
2017	論文(国内)	吉川 悟 教授	システムズアプローチの新たなスーパーバージョンの構造の検討—担当者交代制面接の可能性— 龍谷大学大学院臨床心理相談室紀要 13 1-7		
2017/12/04	論文(国内)	吉川 悟 教授	「チーム医療における公認心理への期待: システム論の観点から」, 精神療法 43(6) 854-855 2017年		
2017	出版物(海外)	齋藤 司 教授	Aktuelle Entwicklungslinien des japanischen Strafrechts im 21. Jahrhundert Gunnar Duttge, Makoto Tadaki 担当範囲 "Die Gefangenearbeit im japanischen Strafvollzug" Mohr Seebeck		分担執筆
2017	出版物(国内)	齋藤 司 教授	ロクシン=アッヘンバッハドイツ刑事訴訟法演習—君の知識を試そう 光藤景枝, 吉田宣之編訳 担当範囲「第3章公判手続3 職権主義と訴訟指揮」, 「第3章公判手続 4手続関与者の出廷・在廷」, 「第4章通常の法的救済(上訴)1 上訴総論」成文堂		共訳
2017	出版物(国内)	齋藤 司 教授	シリーズ刑事司法を考える第2巻 捜査と弁護 佐藤博史編 担当範囲「捜査段階における証拠へのアクセス—証拠利用・証拠保存・証拠開示」p268-295 岩波書店		
2017	論文(国内)	齋藤 司 教授	GPS監視と法律による規律—ドイツ法のアプローチ 季刊刑事弁護 (89) 109 - 115		
2017	論文(国内)	齋藤 司 教授	GPS捜査大法院判決の論理とその影響 自由と正義 68(10), 15-21		
2017/04/	論文(国内)	齋藤 司 教授	被疑者の防御権の内容とその制限の適法性判断: 弁護人依頼権を題材として(連載「刑事訴訟法の思考プロセス」第13回) 法学セミナー 62(4), 113-119		
2017/05/	論文(国内)	齋藤 司 教授	公訴の提起・追行とその規制(連載「刑事訴訟法の思考プロセス」第14回) 法学セミナー 62(5), 108-115		

2017年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2017/06/	論文(国内)	齋藤 司 教授	協議・合意制度の構造と手続(連載「刑事訴訟法の思考プロセス」第15回)法学セミナー 62(6), 84-90		
2017/07/	論文(国内)	齋藤 司 教授	訴因論の思考プロセスとその活用(その1)訴因の特定・明示(連載「刑事訴訟法の思考プロセス」第16回)法学セミナー 62(7), 96-103		
2017/08/	論文(国内)	齋藤 司 教授	訴因論の思考プロセスとその活用(その2)訴因変更の要否(連載「刑事訴訟法の思考プロセス」第17回)法学セミナー 62(8), 108-115		
2017/09/	論文(国内)	齋藤 司 教授	公判前整理手続と証拠開示(連載「刑事訴訟法の思考プロセス」第18回)法学セミナー 62(9), 95-103		
2017/09/25	招待講演(国内)	齋藤 司 教授	GPS大法廷判決とGPS監視捜査立法 日本弁護士連合会・GPS捜査に関する立法対応WG勉強会:於大阪弁護士会		招待あり
2017/10/	論文(国内)	齋藤 司 教授	証拠法の基本的思考プロセス(連載「刑事訴訟法の思考プロセス」第19回)法学セミナー 62(10), 107-114		
2017/10/	論文(国内)	齋藤 司 教授	GPS捜査大法廷判決の論理とその影響(特集 監視型捜査手法の新展開:GPS捜査判決を契機として[最高裁平成29.3.15]) 自由と正義 68(10), 15-21		
2017/11/	論文(国内)	齋藤 司 教授	「関連性」を踏まえた証拠能力の判断プロセス:証拠法の基本的思考プロセス(2)(連載「刑事訴訟法の思考プロセス」第20回)法学セミナー 62(11), 95-102		
2017/12/	論文(国内)	齋藤 司 教授	法320条1項の適用の有無を判断する思考プロセス:証拠法の基本的思考プロセス(3)(連載「刑事訴訟法の思考プロセス」第21回)法学セミナー 62(12), 99-106		
2018	論文(国内)	齋藤 司 教授	新潟刑務所(「矯正・保護課程」開設40周年記念号(2)) -- (矯正施設参観記 2018年度「矯正・保護課程」共同研究・施設参観報告) 矯正講座 (38), 155-157		
2018	論文(国内)	齋藤 司 教授	刑事弁護レポート 理論的観点から 刑事弁護 (95), 81-83		
2018	論文(国内)	齋藤 司 教授	井戸田捜査法理論の現代的意義:訴訟的構造論と近年の議論との関係を中心に(特集 刑事弁護の観点からみた井戸田理論:追悼・井戸田侃先生) 刑事弁護 (93), 109-116		
2018/01/	論文(国内)	齋藤 司 教授	刑訴法321条以下の伝聞例外規定を活用する—証拠法の基本的思考プロセス4(連載「刑事訴訟法の思考プロセス」第22回)法学セミナー 63(1), 87-95		
2018/02/	論文(国内)	齋藤 司 教授	違法収集証拠排除法則の思考プロセスとその活用—証拠法の基本的思考プロセス5(連載「刑事訴訟法の思考プロセス」第23回)法学セミナー (757) 110 - 117		
2018/03/09	招待講演(海外)	齋藤 司 教授	証拠開示制度の改正と課題 東アジア刑事司法改革の現状と課題 シンポジウム:於中国人民大学(北京)		招待あり
2017/11/	論文(国内)	中根 真 教授	海野幸徳と社会学者・米田庄太郎 龍谷大学論集 (490) 213 - 232		
2017	論文(国内)	玄 守道 教授	覚せい剤の故意の認定について 刑事法ジャーナル (53号) 13頁		
2017/04/	論文(国内)	玄 守道 教授	未成年者喫煙禁止法違反事件[高松高裁平成27.9.15判決] 新・判例解説watch: 速報判例解説 20, 207-210		
2017/09/	論文(国内)	玄 守道 教授	危険運転致死傷罪における赤色信号を「殊更に無視し」の機能に関する一考察 龍谷法学 50巻(1号) 115頁		
2018	論文(国内)	玄 守道 教授	刑法207条(いわゆる同時傷害の特例)の適用要件とその適用方法について 立命館法学 2017(5・6), 2056-2078		
2017/04/	出版物(国内)	井上 見淳 准教授	「浄土真宗の教え」担当範囲「第四章 念仏往生と信心正因」 本願寺出版		共著
2017/05	出版物(国内)	井上 見淳 准教授	親鸞教義の諸問題 永田文昌堂		
2018/03/	論文(国内)	井上 見淳 准教授	小児往生論の研究(上)名代だのみを中心として(川添泰信教授定年退職記念特集号:浄土仏教と親鸞教義) 眞宗学 = Journal of Shin Buddhist Studies (137) 253 - 275		
2018/03/	論文(国内)	佐々木准教授	三毒五悪段にみられる奪算説について(川添泰信教授定年退職記念特集号:浄土仏教と親鸞教義) 眞宗学 = Journal of Shin Buddhist Studies (137) 299 - 324		
2017/04/	論文(国内)	能美 潤史 准教授	無年紀の御文章の製作年代について『浄土思想の成立と展開』		
2018/03/	論文(国内)	能美 潤史 准教授	『教行信証』坂東本に付された角点に関する諸問題『眞宗学』(137・138)	1	査読あり
2017/06/	論文(国内)	赤津 玲子 准教授	私の学びという一事例研究 精神療法増刊 (3) 195 - 200		
2017/06/	出版物(国内)	赤津 玲子 准教授	家族カウンセリングでの逆転に向けて[坂本真佐哉編:逆転の家族面接] 日本評論社		分担執筆
2018/03/	出版物(国内)	伊東 秀章 講師	「ビハラー入門-生老病死に寄り添うために-」友久 久雄(編), 吾勝常行(編), 児玉 龍治(編):伊東 秀章(担当:分担執筆, 範囲:ビハラーの歴史), 本願寺出版		分担執筆
2018/03/	論文(国内)	伊東 秀章 講師	「心理臨床面接の初期場面への大学生と心理士の着目点の相違」伊東 秀章, 田中 智之, 志田 望, 龍谷大学臨床心理学紀要 6 1 - 10		
2017/06/	学会報告(国内)	伊東 秀章 講師	「家族支援による巻き込まれとエンパワーメント」, 伊東 秀章, 一般社団法人日本心身医学会 第58回年次大会		
2017/04/	論文(国内)	打本 弘祐 准教授	「仏教はキリスト教から何を学ぶべきか—バプテスト病院牧師室研修を通して—」, 打本弘祐, 慈光法書 135 - 161 2017年4月		招待あり
2018/03/	論文(国内)	打本 弘祐 准教授	親鸞と対象喪失(上)グリーフケアとの接点を求めて(川添泰信教授定年退職記念特集号:浄土仏教と親鸞教義), 打本 弘祐, 眞宗学 = Journal of Shin Buddhist Studies (137) 325 - 344	1	
2018/03/	論文(国内)	廣橋助手・吉川 悟 教授	部活動のことで行き詰まった母子との面接過程—相互作用という視点からどのように働きかけられるか— 龍谷大学大学院臨床心理相談室紀要 (第14号) 29 - 35 2018年3月		
2017/11/	学会報告(国内)	小正 浩徳 准教授	「死」を考える講義による学生の死生観の変化III, 小正浩徳, 滋野 井一博, 友久久雄: 日本心理臨床学会第36回秋季大会		
2018/03/	出版物(国内)	小正 浩徳 准教授	「ビハラー入門-生老病死に寄り添うために-」友久 久雄(編), 吾勝常行(編), 児玉 龍治(編):小正 浩徳(担当:分担執筆, 範囲:生老病死に寄り添うために), 本願寺出版		分担執筆

2017年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2017/9/16	学会報告(国内)	内手 弘太 講師	大正期親鸞像の形成—本願寺教団の動向を中心に 日本宗教学会第76回学術大会		
2018/03/	論文(国内)	内手 弘太 講師	大正期親鸞像の形成—本願寺教団を中心に(発表要旨) 宗教研究 第91巻別冊		
2017/	論文(海外)	デビッド・ブルースター 研究員	Culture(s) of control: Political dynamics in cannabis policy in England & Wales and the Netherlands, David Brewster, European Journal of Criminology 14(5) 566 - 585 2017年	1	
2018/03/01	論文(海外)	デビッド・ブルースター 研究員	The structured ambivalence of cannabis control in England & Wales, David Brewster, International Journal of Drug Policy 53 125 - 132 2018年3月1日	1	
2017/6/4	学会報告(国内)	牧野 雅子 研究員	刑事司法の性暴力認識「性犯罪」加害者に着目して 関東社会学会第65回大会 テーマ部会B「性的身体の現代的諸相—制度的場面における“性暴力”の操作・管理・運用—」		招待あり
2017/07/01	論文(国内)	牧野 雅子 研究員	書評「『慰安婦』問題の言説空間 日本人『慰安婦』の不可視化と現前」 図書新聞 (3309) 5		
2018/01/19	出版物(海外)	上田 光明 研究員	Crime and justice in contemporary Japan, Liu, Jianhong, 宮沢, 節生(担当:分担執筆, 範囲:Bui, Laura, David P. Farrington, and Mitsuaki Ueda, "Potential Risk Factors for Serious Delinquency: Findings from Osaka Male Youths".) Springer		

10

▼2017年度集計

論文(国内)	70	→うち査読付き論文:6
論文(海外)	5	→うち査読付き論文:4
出版物(国内)	10	
出版物(海外)	3	
学会報告(国内)	5	
学会報告(海外)	4	
招待講演(国内)	1	
招待講演(海外)	1	
計	99	